

京都府・桂川右岸流域下水道構成全自治体のマンホールカードを、
「洛西浄化センター下水道フェア」で同時に配布開始！

京都府にある桂川右岸流域下水道構成全自治体（京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町）のマンホールカード（5自治体5種類）が、平成29年10月15日（日）に開催された「洛西浄化センター下水道フェア」から配布開始になりました。一つの流域下水道において、構成する全自治体のマンホールカードが同時に製作及び発行されるのは全国でも初めての取り組みとなります。

フェア当日は生憎の雨模様となりましたが、朝早くからお客様が公共交通機関や車などで続々と詰めかけたため、10時開場予定を急遽10分早め、9時50分には開場しました。駐車場は開場10分ほどで早くも満車となり、京都府外ナンバーの車が目につきました。5自治体それぞれのカード配布ブースの前にカードを求めて長蛇の列ができたため、11時配布開始予定をこ



マンホールカードの配布に並ぶ長蛇の列

れも急遽30分早め、10時30分から配布を開始しました。配布はクイズラリーの形式を取り、各ブースにおいてそれぞれ1問出題されるクイズに正解された方々にカードをお配りしました。5種類全てのマンホールカードを入手された方には、後日、5種類のカードを収納できる特製桂川右岸流域下水道マンホールカードホルダーを差し上げるという特典も用意。みなさん、ブース毎にクイズに挑戦されて次々とカードをGETしていかれました。そして、遠くは北海道から来られた方や、北海道のカードから集め始め、東北、関東、北陸、中部と回り、今は近畿を集めているという方など、様々な方に全国各地から足を運んでいただけたのが印象的でした。勿論、5自治体の住民の方々も数多く来場され、全国各地で展開されているカードのパネルも併せてご覧になりながら、足元にあるマンホール蓋のデザインの多彩さに感心するとともに、さらにその下に広がっている下水道の世界に思いを馳せる方もいて、そのような方々は、併催した浄化センターの施設見学会にも興味津々で参加されていました。また、今年は京都議定書誕生20周年と銘打って多数の関係展示をしており、下水道が日本の、そして世界の環境改善にいかに関与しているかを京都府内外の方々に広く知っていただける大変良い機会となりました。

結局、フェアには、大変な好天に恵まれた昨年開催よりも2割増の750名程の方々にご来場いただき、うち、京都府外からは昨年比7.3倍増の360名程の方々にご来場いただくという、悪天候にも関わらず大盛況の結果となり、改めてマンホールカード人気の凄さを感じることができました。

なお、5種類のカードは、10月16日以降も引き続き各自治体の指定場所において配布

いたします。また、5種類全てのカードを入手するスタンプラリーも実施していますので、ぜひご参加ください。



全国のマンホールカードに興味津々



マンホールカードを無事ゲット！